

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

vol.4

2008
October
November
December

聖路加国際病院広報誌

St. Luke's

セント・ルーカス

● 聖路加を支えるひと

● 特集 医療は今

近所の「診療所」が最良の相談役に!
かかりつけ医と病院の役割



<http://www.luke.or.jp>

病院名は、キリスト教で医者
の守護聖人とされる聖ルカ
にちなんで名づけられました。



聖路加国際病院の理念

*This hospital is a living organism
designed to demonstrate in convincing terms
the transmuting power of Christian love
when applied in relief of human suffering.*

キリスト教の愛の心が、人の悩みを救うために動けば
苦しみは消えて、その人は生まれ変わったようになる
この偉大な愛の力を、たれもかすぐわかるように
計画されてきた。生きた有機体がこの病院である

3日間ドックのご紹介

専用の個室で快適な3日間を

聖路加国際病院の宿泊ドックでは、人間ドックのパイオニアとして50年以上にわたり蓄積した実績と、病院施設内の最新機器による精密な診断をもとに、どうすれば日頃の生活習慣に由来する慢性疾患（がん・脳卒中・心臓病など）を予防できるかを総合的に判断・指導を行っております。

その中でも、最も多くの方々にご利用頂いている3日間ドックについて簡単にご紹介いたします。

このコースの特徴は、血液検査や内視鏡検査のほかに各診療科の専門医による診察を受けることができるため、より確実な病気の早期発見が可能となります。

お部屋は、9階にドック専用のゆったりとした個室をご用意しております。日常の喧騒を忘れ、心身ともに快適な3日間をどうぞお過ごし下さい。

このほかにも各種コースをご用意しておりますので、詳しい内容についてはお気軽にお問い合わせ下さい。



特集 医療は今

近所の「診療所」が 最良の相談役に！

かかりつけ医と病院の役割



日

常的な診療を行ってくれる、
身近な診療所は心強い味方

たり前でした。

みなさんもこんな経験をしたことはないでしょうか？朝起きたらなぜか体がだるくて、これは何か大きな病気の前触れかもしれないと思い、大きな病院へ足を運ぶ。しかしその実態はただの風邪で、診療までにかなりの時間を待たされて、余計体調を悪くしてしまった。また、紹介状がなくしたため、別料金がかかってしまった。こうした風邪など日常的な病気の場合、みなさんにぜひ思い出していただきたいことがあります。それが「かかりつけ医」の存在です。

かかりつけ医とは、別名ホームドクターとも呼ばれていて、健康のことや医療のことなどを気軽に相談できる「町の診療所の医師」を指します。多くの診療所では、基本的な病気であればほとんど診療することができます。ため、まず自分がどの程度の病状なのか、そしてどの診療科にかかるべきのかを判断してもらうことがあります。それが「かかりつけ医」の存在です。

診療所と病院、それぞれの役割を覚えておこう

前述しました「大きな病院の待ち時間」も、診療所でしたら待ち時間は比較的短くなりますし、受診の手続きも簡単になるでしょう。じつくりとコミュニケーションを取り、診療してくれるので、あなたの病状や健康状態を把握して、最適な治療をし相談にのってくれるため、もしもの時に素早い対応をしてくれます。高度な治療や精密検査、入院などが必要な場合は、かかりつけ医に適切な病院・診療科を紹介してもらい、受診しましょう。

そもそも昔は、医者は患者の全てを診ていたのです。患者の身体の状態、心の状態、場合によっては仕事や家族の状況などを把握することは当

3日間ドック概要

検査内容

採血・採尿、検便2種、身体計測、血圧測定、内科診察、X線検査、肺機能検査、安静時心電図、運動負荷心電図、聴力検査、上部消化管内視鏡検査、腹部超音波検査、注腸造影検査、各科診察、糖負荷試験、検査結果報告

料金

■ 3日間ドック	¥363,300(税込)～
■ 1週間ドック	¥674,100(税込)～
■ 脳ドック	¥157,500(税込)～
■ Happy Monday Week限定 2日間特別ドック	¥220,500(税込)～

お問い合わせ

聖路加国際病院 ドック事務室

☎ 03-5550-7081 (月～金／9:00～16:00)



医師・看護師はじめ、ドック専属のスタッフが皆様の健康をサポートいたします。
専用の個室は間取りやガラス窓が大きく、開放的な雰囲気に包まれています。
アメニティグッズやDVDプレーヤー、インターネットLANをご利用頂けます。

Info 01 健康講座のご案内!

当院では毎月1回、健康・医療に関する情報を提供する「健康講座」を開催しております。
入場料無料、ご予約は不要です。皆様のご参加をお待ちいたしております。

会場 聖路加国際病院 2階トイスター記念ホール

時間 毎月第4火曜日(原則) 18:00~19:30

回数	開催日	テーマ	講師
175	10月28日(火)	知って得する病院のかかり方 診療所と病院 それぞれの役割	関東信越厚生局長 鶴田 憲一 循環器内科部長 (パネルディスカッションファシリテーター) 林田 憲明
176	11月25日(火)	世界レベルで感染している『結核』 結核に関する正しい知識を教えます	呼吸器内科医師 仁多 寛彦



開催予定については当院ホームページ(<http://www.luke.or.jp>)
または院内掲示板をご覧ください

※入場無料、予約不要、どなたでも
ご自由にご参加ください



Info 02 充電式電池を導入しました

当院では9月よりエコ・環境を意識して充電式電池を導入しました。これにより、年間8000本の電池が削減できます。モニターや血圧計などの機器だけでなく、緊急災害用の予備電池としても使用します。

運営の基本方針

- 1 「患者中心の医療」を実現するため、患者の価値観に配慮した医療を行う。
- 2 医療の質を高めるため、「根拠に基づいた医療」を実践する。
- 3 全人的医療を行うため、全職員の専門性を結集する。
- 4 地域住民の医療・介護・保健・福祉に貢献するため、地域の医療者・施設との連携を強める。
- 5 国内外の医療の発展に資するため、優れた医療人を育成する。
- 6 医療の発展に寄与するため、現場に根ざした研究を行う。
- 7 国際病院としての役割を果たすため、海外からの患者の受入態勢を整える。
- 8 上記7項目を実現し継続するため、健全な病院経営を行う。

受信者の皆様に守っていただく事項

- 1 心身の状況とその他の必要事項について、詳しく正確にお伝えください。
- 2 検査や治療の内容を十分理解し、合意の上でお受けください。
理解・合意できない場合は、その旨はつきりお伝えください。
- 3 病院内で大声を出したり、器物破損行為があった場合は、状況に応じて院外に出ていただきます。
- 4 飲酒等、他の方々に迷惑かかる行為があった場合は、状況により診療をお断りします。
- 5 病院は敷地内禁煙となっております。喫煙はご遠慮ください。
- 6 携帯電話の使用を制限している場所では、使用をご遠慮ください。
- 7 暴力をふるったり、暴言やセクシャルハラスマント、ストーカー行為があった場合は、診療をお断りします。
- 8 入院中は、多額の現金や貴重品を持ち込まないようにお願いします。
やむを得ない場合には、金庫をご利用ください。
- 9 医療費の支払請求を受けたときは、速やかにお支払いください。

受診者の皆様の権利

聖路加国際病院は、当院を受診される皆様が
以下の権利を有することを確認し、尊重します。

- 1 人間としての尊厳をもつて医療を受ける権利
- 2 最善の医療を受ける権利
- 3 自らの心身の状況に関わる情報を得る権利
- 4 医療サービスの内容と予測される結果について説明を受ける権利
- 5 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
- 6 十分な情報を得た上で、自己の自由な意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利
- 7 研究や教育への参加を拒否する権利
- 8 プライバシーが保たれる権利
- 9 医療費とその公的援助に関する情報を受ける権利



Tomoko Nakagawa

中川 朋子さん

Profile

なかがわ・ともこ／現在研修医の2年生。3年目からの専門研修に向けて、様々な診療科で研修医として働く。今年女性として初めて寮長に選ばれた。



各科ローテーション

内科、外科、救急部、小児科、産婦人科、麻酔科、精神科、地域保健・医療、皮膚科、放射線科などを経験する。各科のローテーションの順番、組み合わせ方は研修医1人1人異なります。

聖路加を 支えるひと

聖路加国際病院で頑張るひとを紹介します。

先輩研修医への憧れ

大学の先輩から良い病院だという話を聞いていたことや、尊敬する日野原先生が理事長をしていること、外来時での印象など、聖路加国際病院を選択した理由はたくさんあります。決め手となったのは、医学生時代に先輩研修医の生き生きとした雰囲気を感じられたからです。医療行為はもとより、患者さんへの対応がとても親切で、限られた時間の中で熱心に勉強されていました。自分が医者になったら、この聖路加国際病院の先生のように働きたいと思ったのです。

実際に聖路加国際病院の研修医になり、先輩への憧れは強くなるばかりです。どの学年のどの研修医も、患者のことを一番に考えて一所懸命働いています。甘えは一切許されませんし、受け持つ患者のことは何を聞かれても答えられるくらい努力をし、責任を持って診ています。先輩医師や同期・後輩研修医の患者への接し方や医療技術、医療知識の豊富さ、そして常に向上心を持って勉強している姿勢を目にし、「私自身負けちゃいられない」とモチベーションが上がります。

様々な科を学ぶことで、基本的なことは
全て対応できる医師になる

私は内科志望ですが、内科に偏らず、救急部や小児科、産婦人科、精神科などのあらゆる診療科を経験しています。医師として基本的なことは全て出来るようになることが目的です。

カンファレンスでは実際の症例、画像を用いて担当の医師から指導を受けたりディスカッションをしています。また、現在私は研究発表のための文献検索の方法や統計の取り方、研究の進め方を学んでいます。休日に同期が独自で開催している勉強会もあります。

3年目から内科の専門研修医となる予定で、生活習慣病・糖尿病を専門に勉強したいと思っています。聖路加国際病院では総合的に勉強して、10~20年後には実家の富山で開業したいと思っています。患者を総合的に診察したり、生活習慣病の管理など行ったりと地域に根付いた医師になりたいです。

表紙の人

親元を離れたことで大きく成長できた

父が開業医で、身内にも医者が多く、私は小さい時から医者になるものだと思っていました。素直な長男で、親父にはあまり反抗しないまとめ役。反抗期がなかった分、出来が悪いかもせんけれど、中学・高校ともまじめな良い子だったと思います。

昭和40年、浪人生活を経て仙台にある東北大學に行くことになりました。父がお世話になつて、岩月賢一教授がいらっしゃって、誘っていただき受験をしました。大きな道路に市電が走っていて信号はあまりない。そこに下駄を履いたおばちゃんがカラコロ歩いてくる。情があって、東京とは違う良さがありましたね。みな本音で話すし、東京にくらべれば小さな街だったのでまとまつていて便利で自由に生活できました。医師としてはもちろんですが、人間として成長できる機会に多く出会えて良い6年間でした。

聖路加国際病院を選んだ理由は、専門知識を学べてチームワークや人とのかかわりがあるということ。たくさんのお医療の進歩・変容を見てきました。

最期を考えて今を生きる

医療は人間の命のみの「こゝ」部だと思っています

が、現在の循環器部長という立場で働いていると、生死と医療との密接な関係を目の当たりにします。

私は62歳ですが、50～60歳までの10年間で様々なことが起つて、体力も気力も落ち、腰が痛くなりました。60歳になると、死ぬまで何年なのかカウントするようになります。若い人に迷惑をかけずに、謙虚に生きて死んでいかなくてはと考えます。大切なのは、最後にどこで倒れるかではなく、死ぬことは生きること」とおっしゃっていますし、毎日大切にしなければいけませんね。

たくさんの出会いが私の財産

草木というのは花に注目しがちなのですが、全てを作っているのは根っこです。その根がいかに自由にできるか、何を与えてやっているかでその草木も変わついくのです。

これは人間にも置き換えられます。私はよく

「聖路加国際病院は庭土」と言います。鉢植えの草木は水をやると枯れてしまいますが、庭木はしっかりと根を張つてるのでそんなことはありません。ミニマムの糞によつて肥料を得たり、幅広く水を探すことだってできる。聖路加国際病院は庭土なのですから、若い人にはその環境を活かして十分に伸びていってほしいですね。

今の私がいるのは、医師という立場で根を張つて、私の誇りです。



聖路加国際病院 副院長／内科チエアマン
循環器部長
林田 憲明 医師

1971年東北大学医学部卒業後、聖路加国際病院レジデンス、1989年内科医長、1995年内科部長、2001年ハートセンター設立に参加。現在、副院長／内科チエアマン、循環器部長を務める。聖路加国際病院の歴史を支え続ける一人である。